

関西医療大学 保健医療学部 作業療法学科 カリキュラム・マトリクス

本学では、4年間の授業科目全体を「総合教育科目（一般教養を幅広く学ぶ科目）」と「専門教育科目（目指す医療資格を専門的に学ぶ科目）」に分けて、それぞれを「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」に基づいて体系的に配当したカリキュラムのもとで教育を行っています。

また、本学の各学部・学科では、本学が掲げる「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、学生が卒業するまでの学びの過程で身につけることを求める8つのコンピテンシー（行動特性、能力）を定めています。学生は、1つ1つの授業科目を年次ごとに履修しながら対応するコンピテンシーの修得を積み重ねていきます。そして、社会の中で本学のディプロマ・ポリシーに相応しい人間性と学修成果を身につけた「社会に役立つ道に生きぬく」医療人として活躍することを目指します。

作業療法学科が学生に求める8つのコンピテンシー

① 人間力	幅広い教養と深い感性を身につけて行動することができる
② 倫理に基づく行動力	医療人として高い倫理観に価値を置いて行動することができる
③ コミュニケーション能力	他者の意見を理解し、それに対する自らの意見を明確に伝えることができる
④ 自己研鑽力	自ら学び、探究することができる
⑤ 専門知識	医学、作業療法学に関する体系化された高度な知識を駆使できる
⑥ 専門技術	作業療法士として有すべき高度な技術を駆使し実践できる
⑦ 臨床的推論力	医学情報・データから根拠つけて、臨床現場の問題解決のために推論することができる
⑧ 臨床的実践力	作業療法士としての技能や技術を臨床現場のなかで実践することができる

大学・学科のディプロマ・ポリシーとコンピテンシーの対応

大学・学科のディプロマ・ポリシー		8つのコンピテンシー							
		①人間力	②倫理に基づく行動力	③コミュニケーション能力	④自己研鑽力	⑤専門知識	⑥専門技術	⑦臨床的推論力	⑧臨床的実践力
大学	1. 医療人として、豊かで深い教養と倫理観を身につけている	●	●						
	2. 保健医療の各分野で求められる専門的な知識をもち、医療技術を実践できる					●	●		●
	3. 新たな課題を科学的・論理的に探究して解決できる知性を身につけている							●	
	4. チーム医療の一員として、自らの責任と役割を理解して行動できる			●	●				
学科	1. 高いコミュニケーション能力でチーム医療に貢献できる	●		●					
	2. 作業療法の基礎的及び専門的な知識と技術を実践現場で発揮できる					●	●	●	
	3. 科学的な視点や順序立てた考えに基づき臨床で実践できる					●	●	●	●
	4. 自己研鑽しながら主体的に課題を探究し解決できる		●		●				●

作業療法学科のカリキュラム配当科目とコンピテンシーの対応

(※対応する上位2つのコンピテンシー番号を記載)

区分	1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
総合教育科目	①② 大学入門セミナー	④⑤ 物質と自然のしくみ	①④ 教育学	①⑤ 社会福祉論					
	④⑤ 科学の基礎	④⑤ 統計学の基礎	③④ 英語表現Ⅲ	③④ 英語表現Ⅳ					
	④⑤ 生命のしくみ	①④ 情報科学Ⅱ		④⑤ 医療英語					
	④⑤ 生命の化学	②⑤ 生命倫理							
	①④ 情報科学Ⅰ	①⑤ 社会学							
	①② 日本国憲法(法の基礎知識)	③④ 生涯スポーツⅡ							
	④⑤ 心理学	③④ 英語表現Ⅱ							
	③④ 生涯スポーツⅠ	③④ 手話							
	①⑤ スポーツと健康								
	③④ 国語表現法								
	③④ 英語表現Ⅰ								
	③④ コミュニケーション学								
	専門教育科目	④⑤ 人体の構造Ⅰ	④⑤ 人体の構造Ⅱ	⑤⑥ 基礎運動学Ⅱ	①⑤ 衛生・公衆衛生学Ⅱ	⑤⑥ 画像解析概論	⑤⑥ 作業療法管理学	⑥⑧ 臨床実習Ⅲ(総合)	④⑥ 作業療法総合ゼミ
		④⑤ 人体の機能Ⅰ	④⑤ 人体の構造演習	⑤⑥ 基礎運動学演習	⑤⑦ 病因・病態学Ⅱ	⑤⑦ 免疫学	⑥⑧ 身体障害作業療法治療学演習	⑥⑧ 臨床実習Ⅳ(総合)	⑤⑦ 研究法応用
		④⑤ 人間発達学	④⑤ 人体の機能Ⅱ	①⑤ 衛生・公衆衛生学Ⅰ	⑤⑦ 臨床疾患学(外科)	⑤⑥ 臨床生理学	⑥⑧ 精神障害作業療法治療学演習		⑤⑥ アロマセラピー
		②⑤ 医学概論	④⑤ 人体の機能演習	⑤⑦ 病因・病態学Ⅰ	⑤⑦ 加齢医学	⑤⑦ 医療統計	⑥⑧ 発達障害作業療法治療学演習		
⑤⑥ リハビリテーション概論		⑤⑥ 基礎運動学Ⅰ	⑤⑦ 臨床疾患学(内科)	⑤⑥ 精神疾患とその障害	⑤⑥ 障がいとスポーツ	⑥⑧ 老年期障害作業療法治療学演習			
⑤⑥ 作業療法概論		④⑤ 臨床心理学概論	⑤⑦ 整形外科学	⑤⑥ 動作解析学	⑤⑥ 身体障害作業療法治療学Ⅰ	⑥⑧ 日常生活活動治療学演習			
		①⑤ 保健医療福祉概論	⑤⑦ 神経内科学	⑤⑥ 身体障害作業療法評価学	⑤⑥ 身体障害作業療法治療学Ⅱ	⑥⑦ 義肢・装具学			
		⑤⑥ 基礎作業学	⑤⑦ 精神医学	⑤⑥ 精神障害作業療法評価学	⑤⑥ 精神障害作業療法治療学	⑥⑧ セラピューティック・レクリエーション概論			
		⑤⑦ 作業療法安全管理学	⑤⑦ 薬理学の基礎	⑤⑥ 発達障害作業療法評価学	⑤⑥ 発達障害作業療法治療学	⑤⑥ 地域作業療法学各論			
		②⑤ 臨床実習Ⅰ(見学)	⑤⑦ 栄養学の基礎	⑤⑥ 老年期障害作業療法評価学	⑤⑥ 老年期障害作業療法治療学	⑥⑦ 臨床実習Ⅱ(評価)			
		①③ 表現思考型学習	⑤⑥ 小児期の疾患とその障害	⑤⑥ 日常生活活動評価学	⑤⑥ 日常生活活動治療学	⑤⑥ 芸術療法概論			
			⑤⑦ 作業療法理論	⑤⑥ 高次脳機能障害評価学	⑤⑥ 高次脳機能障害治療学	⑤⑦ 東洋医学概論			
			⑤⑥ 作業療法評価学総論	①⑤ 国際リハビリテーション学	⑤⑥ 内部障害作業療法治療学	①⑤ キャリア形成セミナー			
				⑥⑧ 地域臨床実習(見学)	⑤⑥ リハビリテーション支援機器概論				
					⑤⑥ 就学・就労支援概論				
					⑤⑥ 地域作業療法学総論				
				④⑤ 研究法入門					